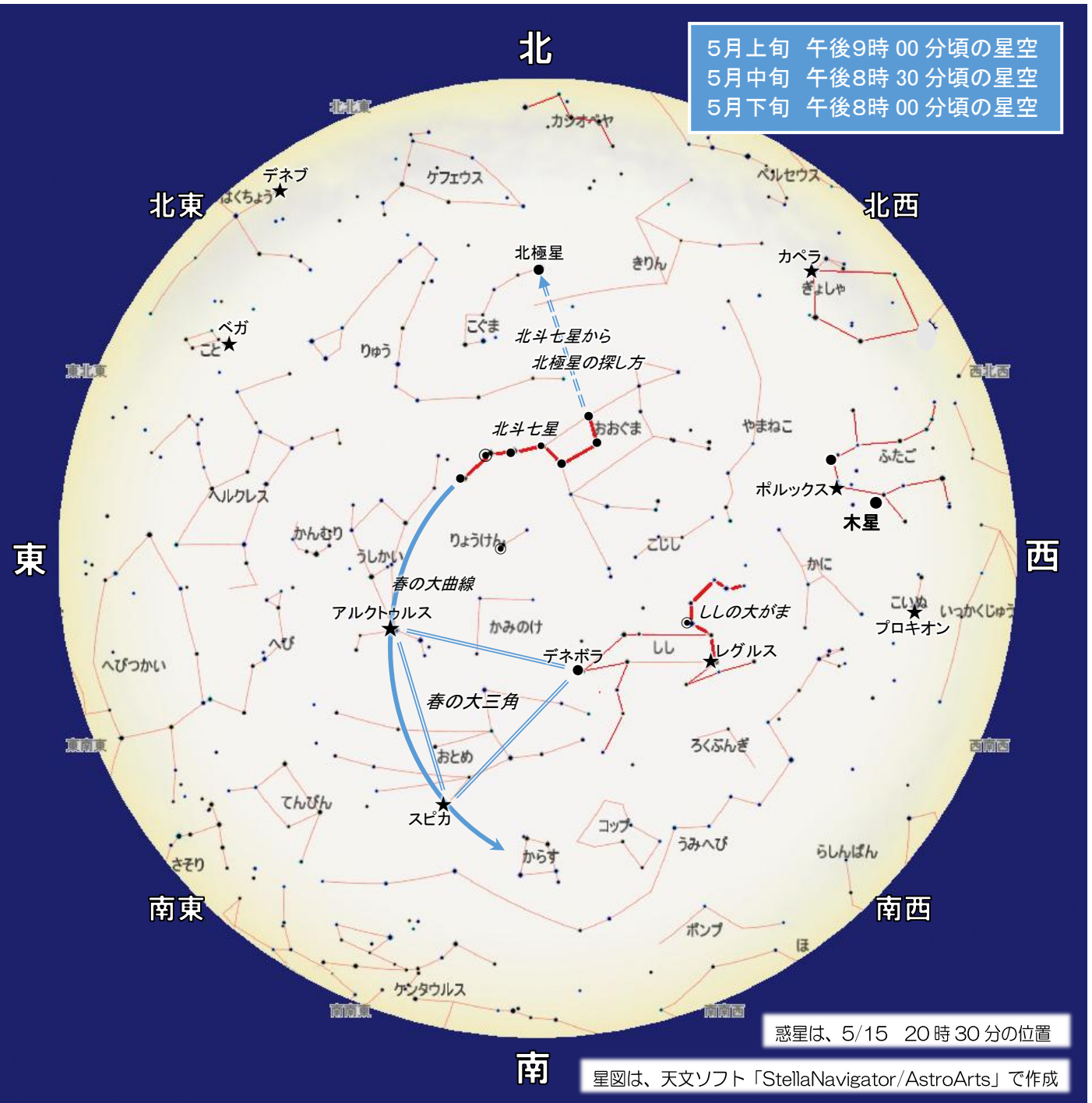


2026年 5月の星空案内



【5月の星空】

北の空高く、おおぐま座のしっぽにあたる「北斗七星」が見えます。北斗七星の柄の部分カーブに沿ってのばすと、うしかい座の1等星「アルクトゥルス」、おとめ座の1等星「スピカ」、さらにその先からからす座をたどることができます。これが「春の大曲線」です。この2つの1等星に、しし座のしっぽあたりに光る2等星「デネボラ」を加えてできる三角形が「春の大三角」です。からす座の南の先(下)には南十字座がありますが、残念ながらさいたま市からは見えません。(二重丸 ● は春の代表的な二重星です)

【5月の天文現象】

19日の夕方から宵、西北西の低い空で月齢3の「月」と「金星」が接近して見えます。また、翌20日には、同じく夕方から宵にかけて、西の空で「月」と「木星」が接近して見えます。1日で月がどのくらい太くなったり、動いたりするか観察するチャンスです。なお、23日の昼過ぎには上弦の月が1等星のレグルスをかくす恒星食が見られますが、白昼での現象なので肉眼では厳しいでしょう。